

安倍政治を終わらせる年に

全道支部・部会代表者会議で意思統一

2019年春闘・組織拡大に全力で

1月12日、「全道支部・部会代表者会議」を開いて、2018年秋のたたかひの到達点を確認するとともに、2019年春闘・春の組織拡大月間・統一地方選挙と参議院選挙など新しい年のたたかひについて意思統一しました。会議には道本部執行部をはじめ各業種部会役員をふくめて10支部と北海道鉄道本部から18人が参加しました。

はじめに、道本部の森国委員長が「毎月勤労統計の不正が明らかになるなどウソとごまかしの政治がひろがっている。今年は選挙の年であり、安倍政治を終わらせるためにたたかひを大きく前進させよう」とあいさつしました。このあと、俵書記長が秋のとりくみの到達点を報告し、宮澤書記次長が2019年春闘方針案を提案しました。討論では、9月以降の組織拡大の到達点(66人)や春闘アンケートのとりくみ(青年アンケートをふくめ306人分)などをふまえ、職場からの要求提出と制度政策要求、各業種部会のとりくみの重点と組織拡大、鉄道を守るとりくみとじん肺闘争(トンネル・アスベスト)、統一地方選挙と参議院選挙闘争、改憲を許さない「300万人署名」をはじめとする国民的課題でのとりくみなどについて議論をおこないました。

道本部「旗びらき」に30人が参加

この会議のあと、道本部の「2019年旗びらき」をおこない、札幌合同支部や北海道鉄道本部の間も加わって、30人が参加しました。道労連の三上友衛議長、日本共産党の畠山和也前衆議院議員(参議院選挙予定候補)、宮川潤道議会議員、太田秀子札幌市議会議員、全動労弁護団の内田信也弁護士から、今年の統一地方選挙と参議院選挙で政治の転換を実現しようと決意をこめた激励のあいさつを受けました。また全動労(現・建交労鉄道本部)出身で道労連事務局長などを歴任した小室正範さん(札幌市議会議員選挙予定候補)も参加して「全動労・建交労の名を汚さないよう必ず当選をめざす」とあいさつし、参加者から熱い激励を受けました。トラック部会・建設部会・労災職業病部会・鉄道本部など各業種・支部の参加者全員が、新しい年の決意と抱負を述べて交流しました。

すべての争議解決「1の日」行動 北の鉄道存続を求める宣伝行動も

1月11日、今年最初の「すべての争議解決・1の日行動」が札幌駅南口でおこなわれ、厳しい寒さの中30人が参加しました。福祉保育労明啓院分会、つばさ保育園、自交総連、医労連恵和会労組からたたかひの報告と決意が述べられました。これに先立ち、北の鉄道存続を求める会が宣伝行動をおこないました。